

希望あふれる北海道、厚別区へ

北海道議会議員

はなさき勝さん

地域の未来にパワフル前進！

温もりのある道政の実現に向け、花崎勝道議のチャレンジが続いています。民間で鍛えた行動力と粘り強さを武器に、地域の声を丹念に拾い、課題を着実に解決へと導く手腕に注目が集まっています。道政上の懸案事項は山積していますが、「一步一步、前進していきたい」と花崎道議はこれまでに増して意欲を燃やしています。

見て 聴いて 走って 応える！

「あいさつ」

皆さまには日ごろから温かいご支援をいただき、心より感謝申し上げます。

台風26号による豪雨の影響で各地に甚大な被害が発生しました。特に伊豆大島の土石流災害では多くの犠牲者が出たことにつきまして、心から哀悼の意を表するとともに、被害に遭われた方々に対してお見舞い申し上げます。

第185回臨時国会が10月15日召集され、安倍晋三総理が衆参両院の本会議で所信表明演説を行いました。

安倍総理は冒頭、「三本の矢」は

世の中の空気を一変させた「この道を迷わず進むしかない」と述べて、引き続きアベノミクスに取り組む強い決意を宣言しました。今国会を「成長戦略実行国会」と位置付け、雇用拡大と賃金上昇に向けて「経済の好循環を実現するため、政労使の連携を深めていく」ことなど、具体化する各政策を指摘し、積極姿勢を表明しました。

本道におきましては、第3回定例道議会が10月4日に閉会し、JR北海道の安全対策強化を国に求める意見書案を全会一致で可決したほか、総額128億円の本年度一般会

計補正予算案など40件、意見書案12件を可決しました。

また、景気・雇用対策、エネルギー政策、TPP交渉、HACの経営健全化、学力向上などさまざまな課題が山積していますが、引き続き一つひとつ真正面から向き合い、地域の声にしっかりと耳を傾け、これまで以上に道議会活動にまい進し、やるべき政策を着実に遂行させるために努力します。

今後とも皆さまの変わらぬご支援をお願い致します。

北海道議会議員 花崎勝

自民党道連・委員会

JR北海道に安全対策の徹底を申し入れ

JR北海道で相次ぐ事故や不祥事を受け、自民党道連と自民党議員会は9月30日、JR北海道本社を訪れ、安全対策の徹底を野島誠社長に申し入れました。その後も事故や不祥事が相次いだことから事態を重く見て、10月10日には伊東良孝道連会長を本部長とする「JR北海道安全問題対策本部」を設置。同日、JR幹部と党所属議員との意見交換を実施し、緊急対策について聞き取りを行いました。

花崎勝道議ら出席した議員が

らは「組織体制を抜本的に改めるべき」「安全管理に対する職員の規範意識が欠けている」「などの厳しい指摘が相次ぎ、JR幹部側は「なぜこういう事態が発生したか探求する」と応じました。



花崎勝
道議の
プロフィール

◆昭和28年8月9日生まれ ◆札幌市豊平区美園小学校、陵陽中学校、北海高校を経て、株式会社ワコール入社 ◆平成21年から衆議院議員町村信孝氏の組織局長として活動。平成23年道議会議員に初当選(札幌市厚別区選出)。現在1期目 ◆道議会経済常任委員、同新幹線・総合交通体系対策特別委員、同予算特別委員長などを歴任。現在、自民党道連副幹事長、同総務会常任総務、同政務調査会副会長、道議会運営委員、同保健福祉常任委員会理事、同少子・高齢社会対策特別委員会理事

はなさき勝事務所

〒004-0053 札幌市厚別区厚別中央3条5丁目8-20 電話011(890)7055 Fax 011(890)7066

LIBERAL&DEMOCRATIC

自由民主

発行所 自由民主党本部 郵便番号100-8910 東京都千代田区永田町1-11-23
電話 東京03(3581)6211(代表)〈毎週火曜日発行〉

(昭和30年6月15日第三種郵便物許可) 自由民主党ホームページ URL <http://www.jimin.jp/>



厚別区版

原子力災害対策

花崎道議が緊急時の対応を質問 医療福祉施設の避難計画支援へ

道は、原子力災害が発生した際、「北海道地域防災計画」を基本として道や関係町村、道警や消防などの関係機関が総合的かつ計画的に対応し、住民の安全を確保することとしています。特に子どもや高齢者、入院患者、障害者などの要援護者には十分な配慮が必要ですが、医療機関や社会福祉施設の中には、患者や入所者の避難経路や誘導方法、医療の維持、関係機関との連携などについて定めた避難計画がないケースもあります。

花崎勝道議は10月3日に開かれた平成25年第3回道議会保健福祉委員会の中で、医療機関や社会福祉施設における原子力災害への対応について質問し、「万一の緊急事態に備え、避難計画の策定を支援する必要があると考えるが、どう対応するのか」と道の考え方をたどしました。

これに対し、高田久保健福祉部長は「すでに社会福祉施設用のマニュアルを関係町村に配布し、早急に避難計画を策定するよう働きかけてい



る。医療機関については国などの動向を把握しつつマニュアルの検討を進め、できるだけ早い時期に策定されるように取り組んでまいりたい」と答えました。

児童虐待防止

児童相談所の体制強化へ向け前進 心理的虐待の主因は「夫婦間不和」

花崎勝道議は9月4日に開かれた平成25年第3回道議会少子・高齢社会対策特別委員会で、平成24年度児童虐待相談対応状況についての報告を受け、虐待防止に向けた施策について保健福祉部の見解を尋ねました。

①警察との連携について

花崎議員 警察へのDV(家庭内暴力)の相談をきっかけに児童相談所に通告が寄せられるケースが増えている。警察との連携をより密接にすることが重要と考えるが、今後どう取り組むのか。

子ども未来推進局参事

児童相談所ごとに地域の警察署との協議や合同研修会を開催しており、こうした取り組みを通じて相互の連携を深めていく。

②学校との連携について

花崎議員 虐待防止に向け、学校との連携をどのように図ってきたのか。また、被虐待児の6割を小学生以

上が占めているが、児童相談所への通報経路別にみると学校から通報があったケースは全体の5%しかない。この状況をどう見ているか。

子ども未来推進局参事

児童相談所の職員が学校を訪問し、虐待の恐れがある家庭や不登校児童に関する情報を収集し、連携確保に努めている。学校からの通報の割合が少ないのは、市町村を経由する場合に「福祉事務所」や「その他」に分類されること

③虐待に至った要因について

花崎議員 虐待に至った要因はどのように把握しているのか。

子ども未来推進局参事

保護者との面接や関係機関からの情報収集により、保護者が抱えるもつとも大きな問題は何かを判断し、集計をした。身体的虐待では「経済的困難」「心または人格の問題」「育児疲れ」に分散している。ネグレクトは「経済的困難」、心理的虐待は「夫婦間不和」が約半数を占めている。

④今後の取り組みについて

花崎議員 通報件数の増加に伴い、児童相談所の体制の一層の充実が必要である。今後どう対応していくか。

保健福祉部長

これまでも組織体制の強化、職員の資質向上に努めてきたが、市町村や関係機関と一丸となって未然防止や早期発見に取り組んでいく。

第3回道議会

総額128億円の補正予算案を審議

平成25年第3回道議会は9月10日招集され、10月4日までの日程で総額128億円の一般会計補正予算案と条例案計52件などを審議しました。自民党・道民会議は9月17日に富原亮道議(渡島総合振興局選出)が代表質問に立ち、経済雇用や学力などの問題を取り上げ、高橋はるみ知事や立川宏教育長らの見解を求めました。



補正予算案には道路や河川の補修など、景気対策として道が単独で実施する公共事業費43億円が盛り込まれました。受注機会が少ない中小の業者に配慮し、小規模の工事を集めて予算化しました。

代表質問の主な項目

一知事の政治姿勢について

①札幌冬季オリンピックの招致 ②政策検討の方向性 ③HAC問題 ④北海道観光振興特措法の制定 ⑤統合型リゾート

二道政上の諸課題について

①食産業立国の推進 ②ASEAN地域との交流 ③ものづくり産業の振興 ④小規模企業への支援 ⑤地域商業の活性化 ⑥電力供給 ⑦北海道新幹線 ⑧社会資本整備の推進 ⑨建築物の耐震化への支援 ⑩私立学校の耐震診断 ⑪議会庁舎の改築整備 ⑫世界文化遺産の登録 ⑬無形民俗文化財 ⑭エゾシカ対策条例 ⑮国民健康保険制度 ⑯介護保険制度 ⑰道立病院事業改革プラン ⑱農業・農村の6次産業化 ⑲道産木材の安定供給 ⑳老朽漁船の更新対策 ㉑漁業への補助金 ㉒海獣による漁業被害 ㉓密漁対策

三教育問題について

①教育推進計画 ②全国学力テスト ③土曜授業 ④いじめ防止条例 ⑤児童生徒のネット依存

四公安問題について



現場に向き地域の声を聴いて道政に反映



議会閉会中も各勉強会に参加